

キャリアストーリー・インタビューによるキャリア支援の検討 ー幼少期におけるキャリアアイデンティティとの関係ー

○加藤はるみ（早稲田大学）

向後千春（早稲田大学）

キーワード：キャリア，サピカス，アドラー

背景と目的

21世紀の柔軟な雇用形態と流動的な組織を基盤とする社会の仕組みは、労働者に柔軟な対応を求めることとなった（Kalleberg 2009）。働く人が流動化している社会において、これまでのキャリアマッチング理論や、職業への適合理論といった考え方は、不安定で急激な変化に対応できないとして、サピカスは、キャリア構成主義の視点とナラティブ・アプローチの手法を提案している。このキャリアストーリー・インタビューはアドラー心理学をベースとしている（Savicas 1989）。

サピカスのキャリア構築理論に基づく手法を使ったキャリア支援の研究はまだ少ない。本研究では、サピカスのキャリアストーリー・インタビューによる新たなキャリア支援の方法を検討する。

方 法

キャリアストーリー・インタビューは以下の手続きに従って実施した。サピカスのインタビューフォームを使用し、幼少時の思い出をインタビューした。インタビューは自己を定義づける瞬間や人生が変化するような経験における重要な人物、重要な出来事に注目する。幼少期の思い出について考察し、キャリアクター・アークの根底にある捉われを特定した。各々がもつキャリアへの理想像、プライベートセンス（私的感覚）を明らかにした。相手とコモンセンス（共通感覚）をもつには、各自

が各々のプライベートセンスに気づくことが必要である（向後 2016）。具体的には、「上司の立場、部下の立場」という立場の違いにおける課題と各自の描くロールモデル、理想とするキャリア像を確認し、そのギャップを明らかにした。

調査協力者：有職者（求職者含む）の4名であった。

調査方法と倫理的配慮：半構造化面接によるキャリアストーリー・インタビューを実施した。質問を実施する前に書面にて、健康状態の確認と、回答は任意であり回答を中断することが可能であることを明記した。質問項目に関して、自由に語るよう促した。

調査期間：2016年1月～2月に実施された。

調査内容：上記サピカスのインタビューフォームに、上司・部下に関する独自の質問を追加した。

結果と考察

キャリアストーリー・インタビューでの幼少期の思い出と感情がナラティブとして語られた（Table 1）。幼少時の記憶は今現在も大切にすること、教訓となり、プライベートセンスの言葉の中にあらわれていた（Table 2）。各自がそれぞれのプライベートセンスに気づくことは、新たなキャリア形成につながる。今後はインタビュー数を増やし、キャリア構成主義によるキャリア支援の方法を展開したい。

Table 1 キャリアストーリー・インタビューのサマリー

協力者	A	B	C	D
ロールモデル	勝つ 正義の味方 完璧じゃない	発明 チーム、頼れる 色々持つ	先生 優しい 一緒に考える 熱心	優しい、笑顔、声をかけてくれる
本	みにくいアヒルの子	擬人化、飛行機（顔が人）キャラ	愛される 笑顔 教科書を母に読む	あまり覚えていない
T V、映画	偉くはならない 完全無敵ではない	司会者が盛り上げやりとり 専門家も	世界観 宇宙 星 星雲	幼児教育TV 時代劇 刑事番組
雑誌	ヒーローの付録 Webで情報集め	特に無し	ビジネス雑誌	特に無し
言葉、大切	あきらめない 自分で決める	話せばわかる 聞く耳 理解は確認	チャレンジ 出会い	家でちまちま好き ジグソーパズルの
小さい頃の思い出	自転車と弟と取り合い横取り	無口で怒りっぽい父は相談できない人	宇宙人に会い 友達の本で確認	転校で言葉が通じず友達作りに苦労
	幼稚園に行かず虫取りに夢中	幼稚園の遊び場でケガして血がでた	両親が喧嘩し母と出かけ父が迎えに	虫歯が無く褒められた 必ず歯を磨く
	弟は子分でいつも一緒 兄は我慢	トイレが間に合わなかった	厳しい父と喧嘩し家出し皆が心配	三つ編とられて泣き怒られショートに
	メンコ 勝つてとるのが好き	体格の良い子と喧嘩して噛んだ	帰るのが間に合わず私だけ怒られる	海外の店前で買って欲しいと泣いた
	父は忙しく怖く放っておかれた	給食は家で・・・犬やおばさんの声掛け	いじめっこをいじめる	こつこつ地味 自分の世界とベース

Table 2 プライベートセンス（上司、部下の立場）

協力者	A	B	C	D
上司に対して	指示 文句 無理やり 不条理は嫌 方針 方向 まかされる 仕事理解	発想違う上司 何を考えているかわからない上司	上司にあわせる 新任が俺のやり方とびっくりかえされたのは嫌だった	プロセスを重要視 成果 結果を指摘されると苦しい
部下に対して	自主性を求める 相談は良いが先ずは自分で考え意見をもつ	事実を知りたい 嘘をつかない 何かあったら俺に言え	人が次のステップやステージで成長嫌われても良いので部下にはきつい	信頼 人として尊敬できるとか認め合える環境 対等な関係
キャリア	色々な人と話す 知識を使い提案しコミュニケーションをとる	お金は大事 年に1回は旅行にいける生活	前職では作る仕事で女性性腰掛け（扱い）で事あるごとにたてついた	次は自分からお客様に行くのではなく来るのが良いかな
支援	競争するが協力的体制 専門性だけでなく知識の組み合わせも考えたい	インタビュー後のフィードバックが欲しい	学び ゴールは働きやすく よりよい人生の一粒になりたい	はじめての仕事は具体的に詳しく教えて欲しい専門用語も